

《 来年の干支
「午」 》

2025 年 11 月 19 日

令和 7 年度 VOL. 33

年賀素材に最適な黒板画 「干支の黒板アート」製作開始

国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】では、毎年恒例の「干支の黒板アート」制作を11月29日（土）より開始します。5回目となる来年の干支は「午（うま）」です。高さ1.84m×幅5.64mの大作を、12月6日（土）から翌年1月25日（日）までインフォメーションセンターで展示します。年賀状やメッセージアプリ、SNSでの新年のあいさつ素材に最適です。



写真は今年の干支『巳』（2024/11/28 撮影）

◆今回のテーマは「馬九行く」

「うまくいく」願いを込めて描く2026年の干支「午」。勢いよく駆ける9頭の馬で、躍動感と力強さのある新年の幕開けを表現します。「物事がすべてうまくいくように」という願いを込め、見る人の背中を押すポジティブなメッセージを発信。希望と前進を象徴する年賀素材として最適な一作です。

- 制作期間：令和7年11月29日（土）～12月5日（金） ※休園日（12/1）を除く
- 展示期間：令和7年12月6日（土）～令和8年1月25日（日） ※休園日を除く
- 展示場所：インフォメーションセンター 軒下
- サイズ：高さ1.84m×幅5.64m

◆ライブで黒板芸術

制作期間（11/29～12/5）は、制作風景を間近で楽しめる「ライブドローイング」を開催。巨大な黒板アートが完成していく迫力の過程を、その場でご覧いただけます。チョークで描かれる繊細な筆致や光を捉える表現も見どころ。作家から制作の意図や技法を直接聞ける、貴重な機会です。

◆ニシキゴイが目印

黒板アートを中心に活動する長野県出身のアーティスト「錦鯉野アキコ」さん。2016年から独学で制作を開始し、ニシキゴイのかぶり物がトレードマークです。黒板にチョークやオイルパステルを用い、繊細なタッチで「光を描く」作風が特徴。「まるで生きているかのように」と評される作品を多く手がけています。



ライブアート（2024/11/28 撮影）



黒板アーティスト「錦鯉野アキコ」さん

Information

「れき原の花畑」では
ネモフィラに霧かけシートがかけられています。

お問い合わせ

アルプスあづみの公園管理センター 大町・松川地区 企画運営担当：足立・尾澤
〒398-0004 長野県大町市常盤 7791-4 TEL:0261-21-1212 FAX:0261-21-1214
https://www.azumino-koen.jp/oomachi_matsukawa/ 公園公式SNSもご覧ください

